

パンフレット表紙デザイン、論文集副題、スローガン 決定!

前回の探究ニュースでも募集のお知らせがありましたが、それぞれ以下の作品が選ばれました。応募してくれた皆さんありがとうございました!



<在校生用パンフレット>
2年 松山 希空



<来校者用パンフレット>
2年 古山 明日実

<スローガン>

究めて時に之を放つ。
亦説ばしからずや。

2年 辻井 龍之介

<論文集タイトル>

考跡
～ともに、ふかめる、探究～

2年 森木 まなり

II 活動報告

東京都教育委員会児童・生徒等表彰式

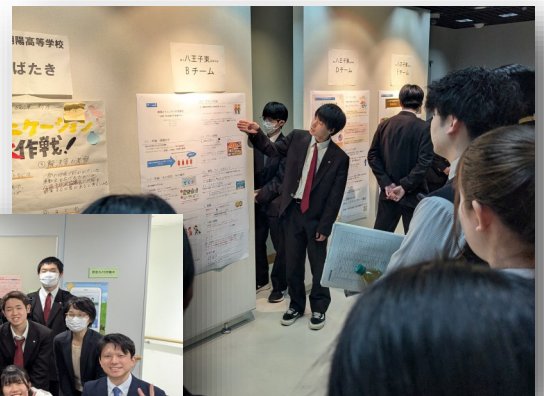
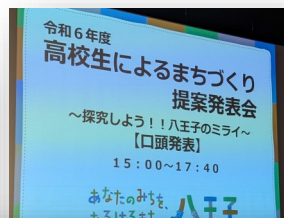
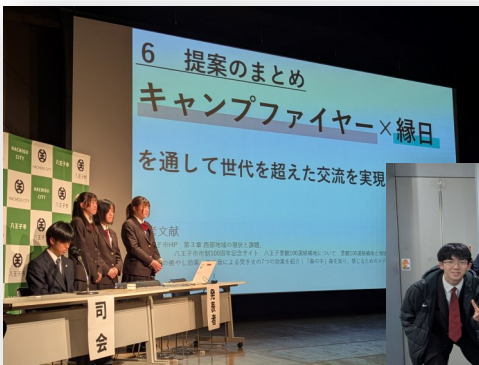
2月8日(土)に東京都庁第一本庁舎にて、東京都教育委員会児童・生徒表彰式が行われました。

本校からは、「地域の児童・生徒の活動支援隊」として活動する高倉小ボランティアと、文化祭における美化活動に主体的に取り組んだ厚生委員会が、その功績を評価され表彰されました。



高校生によるまちづくり提案発表会

2月16日(日)に八王子市主催で八王子市生涯学習センターにて開催されました。本校、翔陽高校、八王子北高校、富士森高校、南多摩中等教育学校の5つの都立高校に加えて、多摩美術大学などが参加しました。本校からは1年生のまちづくりプロジェクトの7チームが参加しました。



台湾渡航記



参加した生徒の感想

まず一番に、台湾へ行ってみて良かったことは現地の人とたくさんお話できた事です。日本は島国ですから、海外というとやっぱりなにか恐ろしいものを感じますよね。でも、台湾で様々な人に会ってその考えは変わりました。店員さんや高雄高級中学の同じ高校生、成功大学の先生方などなど… みんなおなじ人間なんだなって改めて感じられました。特に高雄高級中学の生徒さんは紳士のすぎて上手く英語が話せなくて申し訳なかったです。笑 それに、現地のかわいらしい姉妹が私に話しかけてくれたんです！リュックが開いているのを教えてくれた上、記念にカメのストラップなんでもらってしまいました。日本ではなかなかないことですし、海外だからこそ体験できることです！違う言語に囲まれてたくさんの人と話すっていうのは大変だけれど、自分の世界が広がります。いろんな文化の違いを知ることはとっても楽しいです。ちなみに私が一番びっくりしたのはカニカマのチョコがけが前菜として出てきたことです！意外と美味しかったです！

余談ではありますが、成田空港からの帰りでご飯を食べている時に、外国人の女性がなにやら困っていらした。なんとそのとき、私は彼女に英語で話しかけられました！台湾で英語をたくさん話したからでしょうか、なんでもやれる勇気が湧いていました。すぐ解決したためあまり力になれた感じはしなかったのですが、後から考えるとあのときの自分は凄いな、と考えてしまいます。海外に行くことというのは自分の素晴らしい経験、宝、そして自信になります。この研修に勇気を出して申し込んでみて本当に良かったと思います。読んでくださっているみなさんも、ぜひぜひ海外に行ってみてはいかがでしょうか。

一番楽しかったことは高雄高級中学の生徒にガイドしてもらって夜市や有名な観光地に行ったことです。高雄高級中学と生徒との会話はほぼ英語でした。独学で日本語を学んでいて日本語が伝わることもありましたが、さすがやはり会話のほとんどは英語で、聞き取れない時は本当に申し訳なかったです。自分の力不足を感じましたが、交流会が終わると前より成長した気がしました。

緊張したことは台湾の大学でグループ探究の発表をしたことです。大学の先生に直接アドバイスをいただける貴重な機会でした。他にも高雄高級中学でのオープンキャンパスやDream Chaser という皆さんによる特別な実験など研修旅行はとても充実したものでした。海外に学校の代表として行くという経験は滅多にできることではないですし、高いハードルがあるように感じるかもしれません。ですがそこでしか得られない経験がいくつもありました。ぜひこの台湾研修に参加して、自分の世界を広げて欲しいです。

台湾に行ってみて一番感じたことは日本の文化がとても浸透しているということです。コンビニに行った際には、目につく商品の多くが日本のもので、パッケージも日本語だったり、現地の方々も私たちが日本人だと分かると日本語で話しかけてくれたり、現地の生徒と交流した際には日本のアニメの話で何時間も話せるほど詳しくなったりなどで国境を越えた文化の交わりを強く感じました。現地の生徒と交流した際には英語で会話しましたが、私も現地の生徒もネイティブな英語話者ではなかったので、お互いに普段聞いている英語と違い、英語が伝わりにくかったりする場面も多かったです。しかし、それでもお互いに意思疎通が出来たことには今まで英語の勉強をしていた甲斐を感じる事ができ、英語をもっと学びたいというモチベーションにもなりました！今回の研修で私は初めて海外に行ったので、現地に行って国内では得られない貴重な経験や、文化の相違、言語活動の取り組みなど様々なことを体験できました。次は、自分も中国語を少し勉強して、また台湾に行きたいです。

Ⅲ 活動報告～探究活動～

高倉大根プロジェクト



地元の農家の方に教わりながら、八王子市特産の高倉大根を種から育てて沢庵にする「高倉大根プロジェクト」。今年も美味しい沢庵が出来上がりました！

参加した生徒の感想

猛暑のなか立ったりかがんだり肉体労働である畑仕事の大変さを実感したとともに、想像していたよりもはるかに天候に左右されやすいことや、伝統野菜を栽培する農家が減少してきていることなどを学んだ。また、どの回も2年生の先輩方のおかげで、楽しく作業をすることができ、特に一緒にたくあん漬けを作ったのが印象に残っている。

実際に自分たちで作ったたくあんは食感も味も新鮮でとても美味しかったです。このフィールドワークを通して、高倉大根をはじめとした伝統野菜について考えるきっかけになったし、福島さんや先輩方と関わることができたので、参加して良かったです。

一番初めの活動日である種まきの日は生憎の雨だったので、活動時間を押して種まきをしました。この日の土は濡れて重くなっており、まずほぐすことがとても大変でした。2回目の間引きは10月半ばなのに暑さが酷く大根が心配でしたが、順調に育っていたので安心しました。一足先に頂いた間引き菜はとても柔らかく美味しかったです。その後は昨年のように追い撒きをすることもなく、問題なく収穫となりました。スーパーなどに並んでいる大根に劣らないほど白く真っ直ぐに成長していて、そのときには収穫した大根すべてに愛着が湧いていました。そのあと干して、漬けて、ようやく食べたたくあんは本当に素晴らしかったのを覚えています。単純に美味しいというもありますが、これまでの成長や苦勞を思い出した感動もありました。

このフィールドワークで、先輩と協力したり地域の農家さんにお世話になったりして、高倉大根のことや野菜を育てる上での知識など、たくさん学ぶことができました。以前は農業にあまり魅力を感じず、土や草など苦手でしたが、あのたくあんの味を知って考えが変わりました。野菜や農業に興味が出てきて、新しい考えも持つことが出来たので、参加できて良かったです。

